

# ふらりらいふらりい

～図書室にはこんな本があります～

## No. 4

来館者の方からの質問事項をもとに昭和館図書室の図書を紹介します。

(書名の後の ( ) 内の数字は請求記号です。)

**問 南方方面の地図が見たい**

**答 「大東亜南方圏地図帖」(292 F67 閉架)**

検索方法は、来館者用検索端末で

図書・雑誌 → 図書 → 書名 → 地図\_南方

で 3件 検索できます。詳細画面に移動して、目次等からご覧になりたい資料を選んで、請求票を出力し、カウンターにおもちください。

その他、

「戦史叢書 南太平洋陸軍作戦1～5 付図付表」(391.26 B62 1～5 開架)があります。

(開架に出ている図書ですので直接戦史叢書の書架からお探しく下さい。)

★この他の地図を見る場合も、上記の方法で「南方」のところを目的の地名に変えて検索するか、

図書・雑誌 → 図書 → ことば → 地図\_〇〇(地名)

で検索してください。

地名によっては検索しても出てこない場合があります。

見つからない場合やわからない場合等、カウンター職員までおたずねください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊!!! ③

さて、今回は闇市にでも行ってみましょう。

闇市と言えば、戦後の混乱期の代名詞です。空襲で焼け野が原になった広場に、権利もなにも無視したバラック商店が出来たのです。新宿、新橋、上野が有名ですが、下町でもあらゆる盛り場に闇市が有りました。土地の無い所では、用水路の上に板を敷いた危なっかしい闇市も有りました。

そこで、端末に向かって（ことば）で「闇市」を引きます。

「東京闇市興亡史」（猪野健治・草風社）、「一人ぼっちの焼け跡」（秋山正美・日本図書センター）他が出てきます。どちらも一種熱っぽい本です。

フーン、そうなのか。大変だったなあ。と、当時まだ生まれていない筆者は唸ってしまいます。所で「闇市」と言いますが、ホントに焼け跡でやっていた頃はいざ知らず、チャンと露天商の届け出はしていたわけですから、どこかに正式なデータは無いものかと探してみます。まず、データベースになっている「大衆文化事典」で闇市を引くと、発端から解説があり、中に・・・昭和26年の「東京露天商組合」組合員数59000人と有ります。戦後の復興は闇市からであった。という人もいるのもうなづけます。

最後に、映像音響室の検索端末で「闇市」を引くと、終戦直後に米軍が撮影した新橋や新宿の闇市の写真が出てきます。昭和館陳列室にも闇市で売られていた資料が陳列されていますが、日本人って、こんな時代を生き抜いて来たのだな・・・と、やや感動します。竹でランドセルを作ったのか・・・！！。

そうだ。と言うわけで、今回は「代用品」を検索してみようと思います。（午睡）

-----

—図書室から—

残暑が厳しかった毎日ですが、ようやく秋らしくなってきました。

読書の秋・スポーツの秋・食欲の秋 etc…。それぞれの秋を大いに満喫しましょう！

\* 「ルーペ」「メモ紙」を用意しています。

小さく細かい文字等の資料を見るためにルーペをご用意しています。カウンターにあります箱の中にはいっていますので、ご自由にお使いください。また、メモ紙が必要な方は、同じくカウンターのメモ箱の紙をお使いください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 4  
1999年9月23日 発行  
編集・発行 昭和館 図書室  
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1